

“祝福家庭としての決意新たにする 1 日に”

韓国・天正宮博物館で「真の父母様招請 クリスマス晩餐会」



クリスマス・イブを迎えた12月24日夕、韓国・清平の天正宮博物館で「真の父母様招請クリスマス晩餐会」が開催され、韓国と日本の教会指導者など約320人が参席しました。

晩餐会では、ケーキカットに続いて、文善進世界会長ご夫妻をはじめ、韓日の代表者が順番にお母様にプレゼントを奉呈。報告祈祷に続いて、11月30日にワシントンDCで行われた「世界平和国會議員連合北米大陸創設大会」を中心とした米国摂理勝利の映像が上映され、鄭元周総裁秘書室長が同大会における真のお母様のみ言を訓読した後、宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長の「勝利提議（乾杯）」によって晩餐が始まりました。

この日、お母様から参加者全員にクリスマスプレゼントとしてネクタイが贈られ、お母様が代表者7人に直接手渡されました。また参加者によるプレゼント交換の時間には、会場にサンタクロースが登場。真のご家庭のお孫様にプレゼントを渡すシーンもありました。



文化競演は日本チームが優勝

第2部の「クリスマス文化の晩競演大会」では、オープニングで「アップルヘブン」がクリスマスキャロルのメドレーを披露。

引き続き、世界本部や天宙清平修鍊苑、韓国CARP、日本CARPなどの代表7チームによる文化競演が行われ、日本CARPのパフォーマンスが最優秀の「大賞」を獲得。お母様から直接表彰されるといった大きな恵みにあずかりました。

その後、真のお母様が約6分間にわたってみ言を語られ、「この日を迎えるたびに私たちは、『私は絶対に勝利しなければならない、真の父母様の夢、神様の夢、人類の願いを成してさし上げる、責任を果たす祝福家庭にならなければならない』と決心する1日にしなければなりません」と強調されました。（後述）

最後は、宋光爽韓国UPF会長のリードで億万歳三唱を行い、晩餐会は閉幕しました。



真のお母様のみ言

（今日のクリスマスのような）このような日々がこれから、私たちの未来世代に、現在私たちが真の父母様に侍り、どのような人生を生きたのかという姿を、真に見せてあげる発展的な生活となることを宿願します。

この世では、12月25日をクリスマスの日と決めてずっと続けて来ましたが、時が流れるほどにますます天の摂理やイエス様の誕生を祝賀するよりも、世俗的で本質を離れた、ただ1年を締めくくる出会いの場所として過ごすようになっているのが現実です。

そのようなたびにイエス様の立場はどうでしょうか。それほどに天がご苦労され4000年ぶりに誕生させた独り子・イエス様、（神様が）「私の息子だ」

というその息子が、その夢を成し遂げることも出来ず、十字架に掛からざるを得なかった悲惨な歴史を中心に、今日のキリスト教2000年の歴史には真実がありません。神様がいるのかいないのか、イエス様が独り子だと言うのですが、それが何を意味するのか、一言で言えばイエス様の弟子たちに知識がなかったというのは事実です。

今日の人類の前に良い点だけを見せてあげることができなかったキリスト教文化圏です。しかし神様がおられるので摂理は発展して来ました。神様がおられるので初めと終りが同じではなければならないために、困難な中でも必ずご自身が探し出さなければならない独り子・独り娘を探し出し、ご自身の夢を成就することの出来る救世主・メシヤ・真の父母の名前の下に、祝福家庭たちが生まれ出るようになったのです。それでその家庭たちを通して、神様の夢、人類の願いを成し遂げることのできる新しい時代、天一国の門を開いて下さったのです。

ところで6000年ぶりに、とてつもないこの祝福を真の父母様によって受けた皆さんが、どんな責任を果たしたのかを深刻に考えなければなりません。分かりますか？

（クリスマスの）この日を迎えるたびに私たちは、「私は絶対に勝利しなければならない、真の父母様の夢、神様の夢、人類の願いを成し遂げて差し上げる、責任を果たす祝福家庭にならなければならない」と決心する1日となし、1年となさなければなりません。新しい出発をするきょうにしなければなりません。



人類一大家族世界を成し遂げよう！

東京・松濤本部で第4回「合同追慕礼拝」



①合同追慕礼拝でメッセージを語る宋龍天総会長
②追慕礼拝の参加者
③宋龍天総会長
④徳野英治会長

12月14日午前10時半から、東京・渋谷の松濤本部において、教会の発展に多大な貢献をした先輩家庭を偲ぶ「合同追慕礼拝」が行われました。

今回で4回目となった合同追慕礼拝は、久保木修己初代会長、櫻井設雄第5代会長、石井光治第6代会長、梶栗玄太郎第12代会長のほか、松本道子さん、金成治子さん、林信子さんの三役事、43双祝福家庭の大山高誉・方美先生夫妻の9人の歩みを振り返り、天の父母様と真の父母様の前に絶対孝の心情を捧げ、「母の国の使命勝利」を決意する時間となりました。

平井利明総務局長の司会で始まった追慕礼拝は、主礼の徳野英治会長の聖燭点火、田中富広副会長の代表報告祈祷の後、聖和者を偲ぶ映像が上映されました。

献花とみ言訓読の後、徳野会長は記念説教で、このほど米国ワシントンで行われた世界平和国会議員連合北米

大陸創設大会と ACLC（米国聖職者指導者会議）総会の様子を報告。真のお母様のみ言のポイントを ①真のお母様のご存命の時に親孝行を成すこと ②天の立てた中心人物と一つになること ③米国が真の父母を受け入れ、神と人類、世界のために立ち上がること——の3点に要約して語りました。

続いて、宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長が特別メッセージを贈り、家庭連合時代における祝福家庭の行くべき道について説明。「天の父母様の夢、真の父母様の夢、ご苦労された先輩家庭の夢、全ての祝福家庭の夢を成し、真の父母様を中心とした人類一大家族世界を成し遂げましょう」と呼び掛けました。

遺族を代表して、久保木哲子夫人が感謝の言葉を述べた後、飯野貞夫特別巡回師のリードで億万歳四唱をおこない、追慕礼拝は幕を閉じました。

父母の心情を抱いて最も困難な峠を越えよう！

二世圏祝福推進全国責任者ネット会議



①第4地区で行っている「新親セミナー」 ②茨城教区の「プロポーズ・フォー・ブlessing」で誕生したカップル

2016年は「二世圏祝福推進委員会」が発足し、二世圏の青年祝福に力を入れてきました。

12月20日、二世圏祝福推進のための全国責任者ネット会議が宋龍天総会長と徳野英治会長の出席のもと行われました。7月、10月に続く3回目です。

ネット会議では、家庭教育局の阿部美樹局長と櫻井正上副局長が「二世圏祝福の推進状況と今後の展望」について説明。①牧会者を中心とした横断会議の活性化と一斉調査の推進②祝福に向けたフォローアップ体制の強化③マッチングの出会いの場づくりの強化——の3つの柱を中心に報告を行いました。

また第4地区と茨城教区からは証しが披露されました。

第4地区は、9月から毎月開催してきた「青年原理2日修練会」と、親が信仰の原点に帰るための「新親セミナー」について紹介。茨城教区からは、これまで11回にわたって開催された「プロポーズ・フォー・ブlessing」を通して毎回10組以上のカップルが誕生してきたことが報告されました。

最後に、宋龍天総会長が「父母の心情に入っていく」と題して、孝子としての心情姿勢についてメッセージを語りました。

「(来年2月の基元節4周年までの)120日路程の中でも最も困難な長成期の第2次40日路程の中で、最後の10日を残しています。こういう時こそ、私たち自身も非常に困難な心情の節目を超える瞬間であり、サタンも最大の実権を行使して、私たちの心を混乱させて、困

難にする時期であることは明らかです。

この最も困難な峠を越える方法が、父母の心情を通すことです。私たちが二世圏を祝福に導くことも父母の心情でなさなければなりません。すべての責任者が父母の心情で二世圏を探し、二世圏の青年に会って祝福の話を伝える時も、父母の心情でなさなければなりません。このように父母の心情を通せば、すべての教会は必ず勝利することができます。

天上帝から母の国の勝利のために休まれない真のお父様の切実な心情、そして母の国の威信を正しく立て、母親の体面を立てなさいと言われる真のお母様の切迫した心情、摂理の最前線で昼夜を問わず精誠を捧げられながら私たちをもっと押し出すしかない真のお母様の心情、このような真の父母様の心情を、1日に1度でも考えてみれば、いま私たちが歩んでいる120日路程は何でもありません。私たちが難しいときほど真の父母様の心情を抱いて活動をしていけば、どんなに邪悪な悪魔も私たちの前では必ずどうしようもなく、頭を下げることになるのです。

私たち自身の活動の動機を天の父母様と真の父母様の心情と一体化させて、父母の心情を抱いて必ず勝利しましょう。120日の期間を通じた2千名二世圏の祝福の勝利を達成すれば、この勝利は VISION2020 の2万人二世圏の祝福勝利に向けた踏み台になります。このような VISION2020 勝利への確信を抱いて、第2次40日の目標である2000名二世圏の祝福を必ず勝利しましょう」(一部抜粋)

岡山教区が「3000 名クリスマス書写礼拝」開催

救国救世基盤の造成に向けて大きな一歩



① 3000 人が集まったクリスマス書写礼拝
② 記念講演を行う徳野英治会長
③ 聖歌隊「スタークレイン」

12月18日、「2016岡山合同3000名 天運相続大感謝クリスマス書写礼拝」が岡山市内の会場で開催され、3003人が参加して大勝利しました。救国救世基盤の造成の為にステップと位置付けられた今回の書写イベントは、教区主催としては全国初となる「3000名礼拝」。岡山教区の勝利が全国の勝利となり、VISION2020勝利へとつながることを祈念しながら、岡山の食口が心を一つにして取り組みました。

書写礼拝には、地元議員10人を含め多数の来賓が参加。また新規ゲストを10人以上動員した人が39人、21人以上動員した人が5人、43人動員した人が1人いたほか、三代圏で参加した人々が145人に上り、会場の受付には文字どおり人の波が押し寄せ、大盛況となりました。

オープニングの迫力ある太鼓演奏で会場が盛り上がったのに続いて、家族書写会の映像が上映。各家庭で書写会が定着しているのを感じさせました。

開会宣言、敬礼、家庭盟誓の唱和、代表報告祈禱に続き、聖歌隊「スタークレイン」が感動的な歌声を披露しました。

真のお父様の生涯路程「イエス様との出会い」の映像上映の後、「証し」の時間では、書写を通して病気が快方に向かったり、霊現象がおさまったエピソードのほか、心の持ち方や考え方が大きく変わり、家族への愛情が深まったといった体験談が紹介され、参加者は改めて書写の素晴らしさを実感しました。

続いて、青木大教区長が「書写を通して幸せの輪を広げていきましょう」と主催者挨拶。また、浅川勇男先生が書写の意義と素晴らしさを解説しました。

その後、徳野英治会長が記念講演を行い、今の日本と世界の情勢を語りながら、「幸せの土台は家庭であり、家族の絆を深めるのが愛です。愛こそが幸せの根本です」と人生の意義と価値を力強く訴え、参加者は強い感銘を受けました。

書写実践、瞑想、祝祷などの後、グランドフィナーレでは、地元の若手歌手が感動的な歌を披露し、そこに青年のダンスチームも加わって盛り上げた後、抽選会の豪華景品に会場の興奮もピークに。最後はアメまきをして会場全体が喜びと感謝に包まれ、書写礼拝は閉会しました。

国と地域に影響を与える『世の光』となれ

神氏族メシヤ家庭教会が続々誕生



①第2地区「神氏族メシヤ家庭教会認定式」
②第9地区「神氏族メシヤ家庭教会認定式」
③講義を行う矢野治佳局長 ④家庭教会のプレートを受与される認定家庭（第2地区）

来年2月の元節4周年までの120日特別路程の中で、「認定神氏族メシヤ家庭教会1200家庭」の達成を目指し、各地で取り組みが進んでいますが、現在までにその数は750家庭に達しています。

12月17日、宮城教区仙台家庭教会で「第2地区神氏族メシヤ家庭教会認定式」が行われ、地区認定家庭教会が26家庭誕生しました。

認定式では、安榮燮第2地区長の挨拶に続き、矢野治佳伝道教育局長が講義を行いました。

その中で矢野局長は、「真のお父様の聖和4周年をもってVISION2020実現のための後半3年半の歩みを出発するのに際し、『天への孝情、世の光に』というスローガンが与えられました。真の父母様が天の父母様に捧げられた『孝情』の伝統を私たちが相続し、真の父母様を世界に知らせて誇る『世の光』となることが願われているのです」と説明。

その上で、「私たちは神氏族メシヤ（個体目的）と救国救世基盤の造成（全体目的）をテーマに掲げて出発しました。後半3年半で私たちが特に意識しなければならないのが、『世の光』になること、言い換えれば地域や

国に必要とされ、それらを動かす基準を持つことです。そして地域や国の方向性に影響を与え、課題を解決できる力を持たなければなりません。真のお母様は、神の愛が定着した家庭の姿をもって、私たちが『世の光』になることを願われているのです」と語りました。

その後、認定式と質疑応答が行われ、参加者は各教会のモデル家庭教会となれるよう希望にあふれて出発しました。

一方、9日には第9地区南大阪教区大阪家庭教会で「第2回地区認定家庭教会認定式&研修会」が行われ、新たに認定された10家庭を含む110の認定家庭教会が参加しました。

また11日には第16地区兵庫教区東神戸家庭教会で「神氏族メシヤ家庭教会、夫婦礼拝および地区認定式」が開催。家庭で神様の愛を証す実践者となるべく、28家庭が決意新たに認定家庭教会として出発しました。

さらに17日には、滋賀教区滋賀家庭教会で「地区認定家庭教会出発セミナー」が行われ、新たに認定家庭教会が15家庭誕生しています。

各地でクリスマスにちなんだファミリーイベント開催

2016年も師走を迎え、全国各地でクリスマスにちなんだファミリーイベントが行われました。中には2000人を超えるイベントもあり、教会員の家族や親族、知人友人などが新規ゲストとして多数参加。楽しいひと時を過ごしながら恩恵を分かち合いました。

北海道



12月10日、第1地区は「第23回冬の大讃美・原理大復興会」を札幌市内の会場で開催し、新規150人を含む約1100人が参加。「救国救世と孝情文化」をテーマに、讃美歌や聖歌の讃美のほか、ポップスやオリジナル曲などを演奏し、神様とイエス様、真の父母様を称えました。



秋田



12月11日、秋田教区で「2016ファミリークリスマス」が開催され、155人が集まりました。1年間の家庭教育の集大成として、参加者全員が家族のように楽しく過ごす時間となりました。



北福岡



12月11日、北福岡教区が「クリスマスファミリーフェスティバル in 北九州」を開き、新規ゲスト54人、再復帰10人を含む482人が参加しました。



福島



12月18日、福島市内の会場で、福島教区「クリスマスファミリーフェスティバル」が開催されました。ゲスト1600人を含む2000人の参加者からは「楽しかった」「感動した」という感想が多く聞かれました。

東京韓国婦人会



12月10日、東京・高田馬場の新宿家庭教会で「クリスマス忘年会と祖国のための祈祷午餐会」が開催され、東京韓国婦人会のメンバーとその家族など120人が参加。合唱や講演、食事などで盛り上がり、最後は韓国のためにキャンドル祈祷会が行われました。

奈良



12月11日、奈良教区で「クリスマスファミリーフェスティバル2016」が開催され、700人が参加。「私のお父さん、お母さん」をテーマにした作文コンクール発表に会場は感動に包まれました。



北大阪



12月11日、京阪家庭教会(大阪・守口)で北大阪教区主催「青年学生合同礼拝&クリスマス会」が開催され、45人が参加しました。有志による室内ゲーム大会やビンゴ、プレゼント交換、歌とコントの出し物などで盛り上がりしました。

鳥取



12月18日、鳥取教区米子家庭教会で、ファミリークリスマス書写礼拝が行われ、300人が参加しました。講話のほか、幼児や壮年・婦人によるエンターテインメントなどで楽しい時間を過ごしました。

日本とアジアの平和・繁栄のため国民運動に

愛媛で「日韓トンネル推進県民会議」設立



①「日韓トンネル推進愛媛県民会議設立大会」の参加者
②メッセージを語る徳野英治会長

12月11日、愛媛県松山市内の会場で徳野英治「国際ハイウェイ財団」会長を迎え、「日韓トンネル推進愛媛県民会議」設立大会が開催され、地元議員や韓国民団関係者など約500人が集いました。

青年合唱団「天声」の爽やかな歌声が会場に響いた後、大会が開会し、「国際ハイウェイ・日韓トンネルプロジェクト」の映像が上映されました。

祝辞の披露に続いて議事報告に移り、事務局から①規約案②役員③運動方針——が報告。審議の上、満場一致で承認されました。

引き続き、徳野会長が「日韓トンネルの現状と展望」と題して記念講演を行い、今日のアメリカの動向や中国・北朝鮮の脅威を分析しながら、日韓関係の強化が極めて重要な時であることを強調しました。

その上で、徳野会長は「アジアと日本の平和・繁栄の処方箋として、2030年までに日韓トンネルを完成させましょう。完成の暁には、ぜひ皆様と共に新幹線で日韓トンネルを旅したいです。そのためにも健康管理に努め、長生きしましょう」とジョークを交えながら、日韓トンネルプロジェクトを国民運動として推進していこうと訴

えました。

最後に、県民会議の幹事（地元市議）が閉会の挨拶を行い、「日韓関係が冷え込んでいる中、このような素晴らしいプロジェクトを推進する県民会議が立ち上がり、感無量です。県民運動として一緒に盛り上げていきましょう」と語りました。

参加者からは次のような感想が聞かれました。

「早く日韓トンネル唐津調査斜坑に視察に行きたいと思います。徳野会長のお話を伺い、心が定まりました。日本と韓国が仲良くなるためには、日韓トンネルが最高のプロジェクトです。いばらの道かもしれませんが、共に運動を推進していきます」（県議会議員）

「徳野会長の講話が分かりやすく、日韓の未来に希望を感じるとともに、この運動に希望を感じました」（民団関係者）

「国際情勢の動きが本当によく分かりました。昔は夢のように感じていましたが、いよいよ実現することを確認することができ、将来への希望が持てました」（一般会員）

「初めて日韓トンネルプロジェクトを知った人にとっても、この取り組みの重要性や意義を理解し、賛同してもらえる内容だったと思います。さらに全国民に認知してもらえるよう『歌』『キャラクター』『SNS』の利用などを考えていったらいいと思います」（一般会員）

島根で二世圏祝福父母学習会

12月10日、島根教区松江家庭教会で教区二世圏祝福父母学習会が開催され、二世圏の祝福対象者をもつ父母およそ120人が集いました。

学習会は120日路程における「2000名青年祝福勝利」のための企画として実施。第1部は桜井正上家庭教育局副局長が「二世圏祝福推進に向けて“VISION2020 勝利のために”」と題して講義を行い、参加者は大きな希望をもつことができました。

第2部では父母マッチングの証しや父母ディス

カッションなどを通して、お互いの心情・事情を共有しながら、父母たちが励まし合って決意を固め、心情共同体としての新たな出発をする時間となりました。



西大阪・豊中で2016年総決算家族総力礼拝

12月17日、大阪府豊中市内の会場で、勅使河原秀行・総合企画局副局長を迎えて豊中家庭教会「2016年総決算家族総力礼拝」が開催され、新規・再復帰のゲスト100人を含め、全体で過去最高の約500人が参加しました。

午後からは、豊中家庭教会で「ドン親孝フェスティバル」が開かれ、二世圏約80人が楽しいひと時を過ごしました。



「地方教会ポータルサイト」開設—広報局

全国の家教会では現在、地域に根差した伝道活動を行いながら、認定家教会活動を推進しています。

そこでこのほど、全国の伝道活動にいっそう拍車をかけることを目指し、「世界平和統一家庭連合 地方教会ポータルサイト」が開設されました（下記URL）。

<http://ffwpu-branch.org/>

このサイトを通じて地方の家教会の証し等が全国に拡散され、家庭連合の実像をよく知らない人々に家庭連合の素晴らしさを知ってもらう“入口”になることが期待されます。

